

# 発電設備・電源設備の据付工事・保守 建設機械・環境機器を販売・点検管理

## 四国機電産業株式会社（高松市）



川西和行 代表取締役社長



四国機電産業株式会社の本社ビル

今回は、発電設備や電源設備を含む電気設備の販売、設計、据付工事、保守のほか、発電用機器、環境機器、建設機械の販売、修理などを手がけている「四国機電産業株式会社」取材した。

四国機電産業の代表取締役社長は川西和行（かわにし・かずゆき）氏。所在地は〒760-0077香川県高松市上福岡町768-15。☎087-861-1777。

四国4県の全域をカバーして、ディーゼルやガスタービンなどを搭載した発電設備全般の関連事業を積極的に展開している。四国機電産業の取り組みについて、平成27年（2015年）に第3代社長に就任した川西社長に伺った。

### 創業の経緯

四国機電産業の創立は昭和59年（1984年）5月14日。初代社長は平田秋良（ひらた・あきよし）氏。愛媛県出身。平田氏は「阿川機工（あがわきこう）」の松山支店・高松支店などに勤務していた。サラリーマン時代は主に建設省（当時）向け非常用発電設備に関する据付工事や保守、点検管理といった発電設備事業を担当していた。

昭和58年（1983年）に阿川機工が倒産したため、平田氏は急きょ、ヤンマー出身者と共同で、新会社

### 理念

地域、会社、社員を豊かにする  
社会に貢献する  
人としての生き方を考え、探究する

### 使命感

ヒューマンスキルを磨き、  
信頼されるサービスを提供する

### 行動指針

1. 商品  
私達は、信頼される技術で商品力を高めます
1. 顧客  
私達は、お客様とのつながりを大切にし、誠意をもって行動します
1. チームワーク  
私達は、お互いの考えを尊重し、明るく活気あふれる職場にします



施工事例(1) 屋外に設置された自家発電設備



施工事例(2) 屋内に設置された自家発電設備



本社ビルの屋根に設置された太陽光パネル



ヤンマー製バイオガスコージェネシステム  
「CPシリーズ」

として「四国機電産業株式会社」を高松市内に設立し、操業を開始した。設立当時は建設省のメンテナンスを中心に事業を展開し、本社を現在の本社ビルから南へ約500m移動した場所に置いていた。

設立から1、2年後、のちに第2代社長となるヤンマー出身の機械技術者である宮崎政一(みやざき・まさかず)氏が入社。宮崎氏は発電設備や電源設備の据付工事や、設置後の設備の点検管理といった業務に取り組み、次第に業容を拡大していった。

## 事業の変遷

転機が訪れたのは設立から5、6年後。2人で操業を開始した会社は従業員が6名に増え、営業対象エリアも四国4県へと拡大していった。事業拡大に伴い、四国機電産業では、取り扱い製品のラインアップの充実化や、顧客サービスの向上を図るため、「ヤンマー特約店」となった。

それにより、四国機電産業では、従来の発電設備の据付工事と保守、点検管理といった「施工・メンテナンス」業務に加え、新たに発電設備本体と発電設備周辺機器の「販売」業務へと本格進出した。

四国機電産業によれば、現在、ディーゼル発電設備については、定格容量が1kVA～2,000kVA

(100/200V～6,600V)までの設備をカバーしている。一方、ガスタービン発電設備については、定格容量が250kVA～2,000kVA(220V～6,600V)までの設備を取り扱っている。

発電設備の納入実績については、四国4県において、多数の実績を持っている。高松市の香川県立中央病院に防災用ディーゼル発電設備を納入した。病院施設向けのほか、国土交通省(旧建設省)が統轄しているダム施設やポンプ場、河川管理事務所、消防庁や警察署が統轄しているデジタル通信基地局及び中継基地局、その他の官公庁庁舎向けに、多数の非常用発電設備を施工した実績を持っている。

そのうち、ディーゼル発電設備、ガスタービン発電設備などに関しては、自社で一貫して、設備の据付工事と点検管理を実施している。

平成6年(1994年)2月、現在の本社所在地に、新たな本社ビルが完成した。

## 注力する事業分野

四国機電産業では、「管理部」のほか、営業分野と技術分野を統合した「営業工事部」と「営業保守部」の3部制を採用している。現在の従業員は14名。引き続き、3部が協働して、非常用ディーゼル発電



エンジンの点検整備(1)



エンジンの点検整備(2)

設備、非常用ガスタービン発電設備、建設機械、バイオガス（メタンガス）燃料の常用ガスエンジン発電設備の販売、施工、メンテナンスの各業務に邁進していく。

必要とされる定格容量が1,000kVA未満のお客様にはディーゼル仕様の発電設備を、同様に定格容量1,000kVA以上のお客様にはガスタービン仕様の発

電設備を積極的に販売していく。

特に本年度は、ポンプ場、河川管理事務所、デジタル通信中継局などを中心として、国公立病院、官公庁庁舎といった官公庁関連施設向けや、老人保健施設、電力会社向けに、非常用ディーゼル発電設備、非常用ガスタービン発電設備の販売拡大に注力していくこととしている。